

自傷・自殺企図の理解と対応

自傷行為と自殺企図のリスク・アセスメントとリスク・マネジメントについて各論的な講義をする予定です。

講師 **松本 俊彦** 先生

2023
7/30
(SUN)
10:00～12:00
受付開始 9:00

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 薬物依存研究部部長
同センター病院 薬物依存症センターセンター長
精神神経学会精神科専門医・指導医、精神保健指定医、精神保健判定医

【略歴】

1993年佐賀医科大学卒業。横浜市立大学医学部附属病院での初期臨床研修修了後、国立横浜病院精神科シニアレジデント、神奈川県立精神医療センター医師、横浜市立大学医学部附属病院精神科助手、医局長を経て、2004年に国立精神・神経センター(現、国立精神・神経医療研究センター)精神保健研究所司法精神医学研究部専門医療・社会復帰研究室長に就任。以後、同研究所 自殺予防総合対策センター自殺実態分析室長、同副センター長などを歴任し、2015年より同研究所 薬物依存研究部 部長に就任。さらに2017年より国立精神・神経医療研究センター病院薬物依存症センターセンター長を兼務。

【主な著書】

「自傷行為の理解と援助」(日本評論社, 2009)
「アディクションとしての自傷」(星和書店, 2011)
「自傷・自殺する子どもたち」(合同出版, 2014)
「アルコールとうつ、自殺～『死のトライアングル』を防ぐために」(岩波書店, 2014)
「自分を傷つけずにはいられない」(講談社, 2015)
「もしも『死にたい』と言われたら—自殺リスクの評価と対応」(中外医学社, 2015)
「薬物依存症」(筑摩書房, 2018)
「誰がために医師はある—クスリとヒトの現代論」(みすず書房, 2021)
「世界一やさしい依存症入門」(河出書房新社, 2021) 他多数

【受賞歴】

2006年 星和書店「精神科治療学」優秀論文賞
2011年 日本犯罪学会学術奨励賞
2017年 日本アルコール・アディクション医学会 柳田知司賞
2021年 Neuropsychopharmacology Reports Topic Award 2021
2022年 日本エッセイストクラブ賞

■視聴会場 常磐大学H棟大講義室
水戸市見和1-430-1

※講演はZoomによるLIVE配信を会場にて視聴いただきます。

■定員 100名(先着順)

■対象 公認心理師、臨床心理士、
公認心理師・臨床心理士をめざす大学院生、
臨床心理学領域を教えている教員の方

■参加費 無料

■お問合せ 常磐大学心理臨床センター
〒310-8585
水戸市見和1-430-1
TEL:029-232-2874

お申し込み

常磐大学心理臨床センターウェブサイトの「公開研修会受講申し込みフォーム」にて、7月14日(金)までにお申し込みください。お申し込みをいただいた方には、「公開研修会受講票」をメールにてお送りさせていただきますので、公開研修会受付時に係の者へご提示ください。

URL: <https://www.tokiwa.ac.jp/tccp/>

